



# 平成23年12月期 第1四半期 決算説明資料

2011年5月6日

昭和シェル石油株式会社

## 注意事項

**この資料には、当社グループ（当社及び連結子会社）の将来についての計画や戦略、業績に関する予想、見通しの記述が含まれています。**

**これらの記述は、本資料の発表日現在における情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。**

**従いまして、経済情勢や市場動向、並びに為替レートの変動等の要因により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性がありますので、予めご了承下さい。**

# 決算ハイライト

## ■ 原油価格と為替レート

		2010年実績	2010年度実績 1-3月	2011年度実績 1-3月
ドバイ原油価格	(USドル/バレル)	78.1	76.0	100.9
為替レート	(¥/USドル)	87.8	90.7	82.3
	(¥/EUR)	116.3	125.5	112.7

## ■ 連結損益計算書ハイライト

(百万円)	2010年	2011年	増減	前年同期比(%)
売上高	610,601	691,246	+ 80,644	+13.2%
営業利益	10,793	38,869	+ 28,076	+260.1%
営業外損益	2,963	386	- 2,576	-
経常利益	13,757	39,256	+ 25,499	+185.4%
※在庫影響	6,469	20,439	+ 13,970	+216.0%
※CCSベース経常利益	7,287	18,817	+ 11,529	+158.2%
特別損益	-829	1,517	+ 2,346	-
当期純利益	8,152	20,472	+ 12,320	+151.1%

【注】 カレント・コスト・オブ・サプライ（CCS）ベースの収益： たな卸資産の評価の影響を除いた原価を用いて算出する収益

# 決算のポイント

- 平成23年度第1四半期連結業績は、売上高6,912億円（前年同期比13.2%の増収）、経常利益は392億円（同254億円の増益）となりました。  
たな卸資産の影響等を除く実質経常利益（CCSベース経常利益）は188億円（同115億円の増益）となりました。
- 東日本大震災による当社資産への物的被害は、当社の精製設備にまでは及びませんでした。その中で、震災直後より、製品輸出を取りやめ国内向け供給を確保すると同時に、配送体制の早期復旧に最大限つとめた結果、四月半ばまでに、供給体制がほぼ正常化しました。業績の観点からは、震災の影響は限定的なものに留まると考えています。
- 欧米の寒波や新興国の需要拡大により、海外マーケットが上昇し、製品輸出マージンが改善しました。
- 国内の製品マージンも、国内需給改善および特に中間留分に見られる寒波の影響で良化し、収益の改善に結びつきました。
- エネルギーソリューション事業の中核である太陽電池事業では、世界最大級の生産能力で設計された宮崎第三工場（国富工場）の建設が計画通り順調に進捗しました。

# 東日本大震災の影響と被災地復興対応

## 当社グループの物的被害 状況（主要資産）

- 製油所 : なし
- 油槽所 : 3ヶ所 → 4月10日までに再開
- 給油所 : 50ヶ所
- 船舶（海上輸送）: なし
- 白油ローリー（陸上輸送）: 14台
- 太陽電池パネル工場（宮崎）: なし
- 扇島パワー（火力発電所）: なし

● 被災油槽所

釧路西港

JONET八戸

塩釜

## 当社系列サービスステーションの被害状況

東北+関東地区：被災給油所 50 SS

（青森・秋田・岩手・宮城・山形・  
福島・茨城・栃木・千葉）

## 製品供給対応

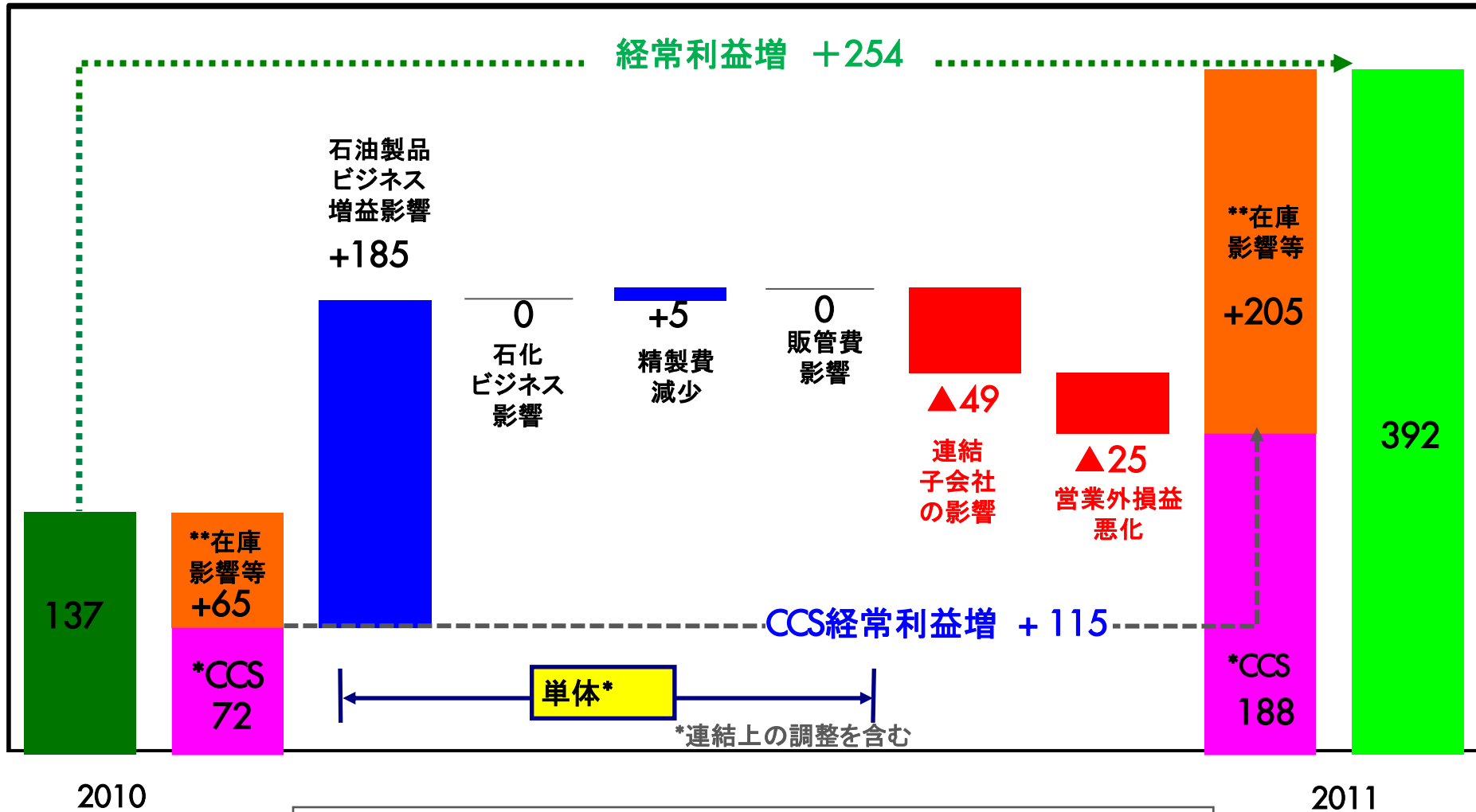
- ✓ グループ製油所の稼働率アップ
- ✓ 海外輸出のキャンセル及び国内供給へのシフト
- ✓ 被災した油槽所の代替油槽所向け製品転送
- ✓ 代替油槽所から被災地に向けた陸上輸送
- ✓ 被災地域へのローリー車シフト（他地域より）
- ✓ ドラム詰め燃料提供  
（自社/石油連盟対応・官庁要請）

※ 被害状況は4月10日時点のものです。

# 経常利益の比較 2010 1Q vs. 2011 1Q

(単位: 億円)

(連結ベース)



\* CCS: Current Cost of Supply (在庫評価の影響を除いたもの)  
 \*\* 「在庫影響等」には、たな卸資産の簿価切下げによる影響を含む。

# 原油処理実績と販売数量実績

## ■ 原油処理実績と稼働率

(千KL)	2010年	2010年 1-3月実績	2011年 1-3月実績
原油処理実績	25,168	6,778	7,185
稼働率	84.2%	92.0%	97.5%

## ■ 製品別販売数量

【注】カーゴトレードを除く

(千KL)	2010年度 1-3月実績	2011年度 1-3月実績	増減	前年同期比
揮発油	2,238	2,245	7	+ 0.3%
ジェット燃料	499	479	-20	- 4.0%
灯油	1,083	1,268	185	+ 17.1%
軽油	1,076	1,227	151	+ 14.0%
A重油	424	513	89	+ 21.0%
C重油	346	356	10	+ 2.9%
その他	1,200	1,127	-73	- 6.1%
輸出	1,116	953	-163	- 14.6%
合計	7,982	8,168	186	+ 2.3%

# 連結業績予想

## ■ 原油価格と為替レートの前提

		2010年 実績	2011年前回想定 (1月発表)	2011年想定 (今回修正)	修正値	前年同期比 (%)
ドバイ原油価格	(\$/B)	78.1	86	100	14	28%
為替レート	(¥/\$)	87.8	80	84	4	-4%
	(¥/EUR)	116.3	115	116	1	0%

## ■ 第2四半期累計期間

(百万円)	2010年 実績	2011年			前年同期比
		1月発表予想	今回修正予想	修正値	
売上高	1,170,221	1,192,000	1,324,000	+ 132,000	+13.1%
営業利益	17,189	13,000	59,000	+ 46,000	+243.2%
経常利益	21,575	12,500	59,000	+ 46,500	+173.5%
※在庫影響	10,449	0	39,000	+ 39,000	+273.2%
※CCSベース経常利益	11,126	12,500	20,000	+ 7,500	+79.8%
当期純利益	11,579	7,000	31,500	+ 24,500	+172.0%

## ■ 通期

(百万円)	2010年 実績	2011年			前年同期比
		1月発表予想	今回修正予想	修正値	
売上高	2,346,081	2,396,000	2,638,000	+ 242,000	+12.4%
営業利益	36,701	32,000	61,000	+ 29,000	+66.2%
経常利益	42,148	31,000	60,000	+ 29,000	+42.4%
※在庫影響	7,861	0	29,000	+ 29,000	+268.9%
※CCSベース経常利益	34,286	31,000	31,000	+ 0	-9.6%
当期純利益	15,956	18,500	34,000	+ 15,500	+113.1%

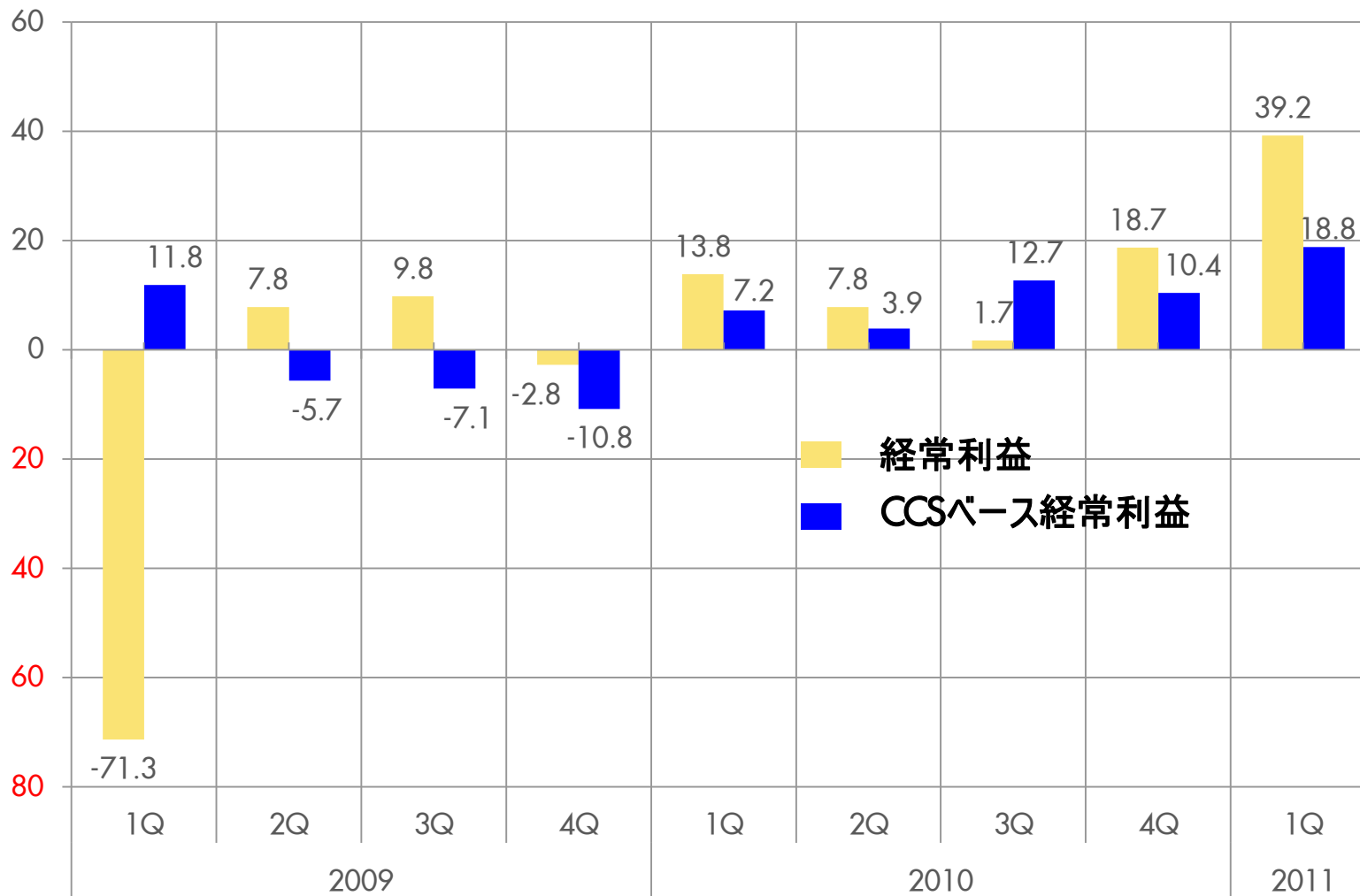
昭和シェル石油株 【注】 カレント・コスト・オブ・サプライ (CCS) ベースの収益：たな卸資産の評価の影響を除いた原価を用いて算出する収益



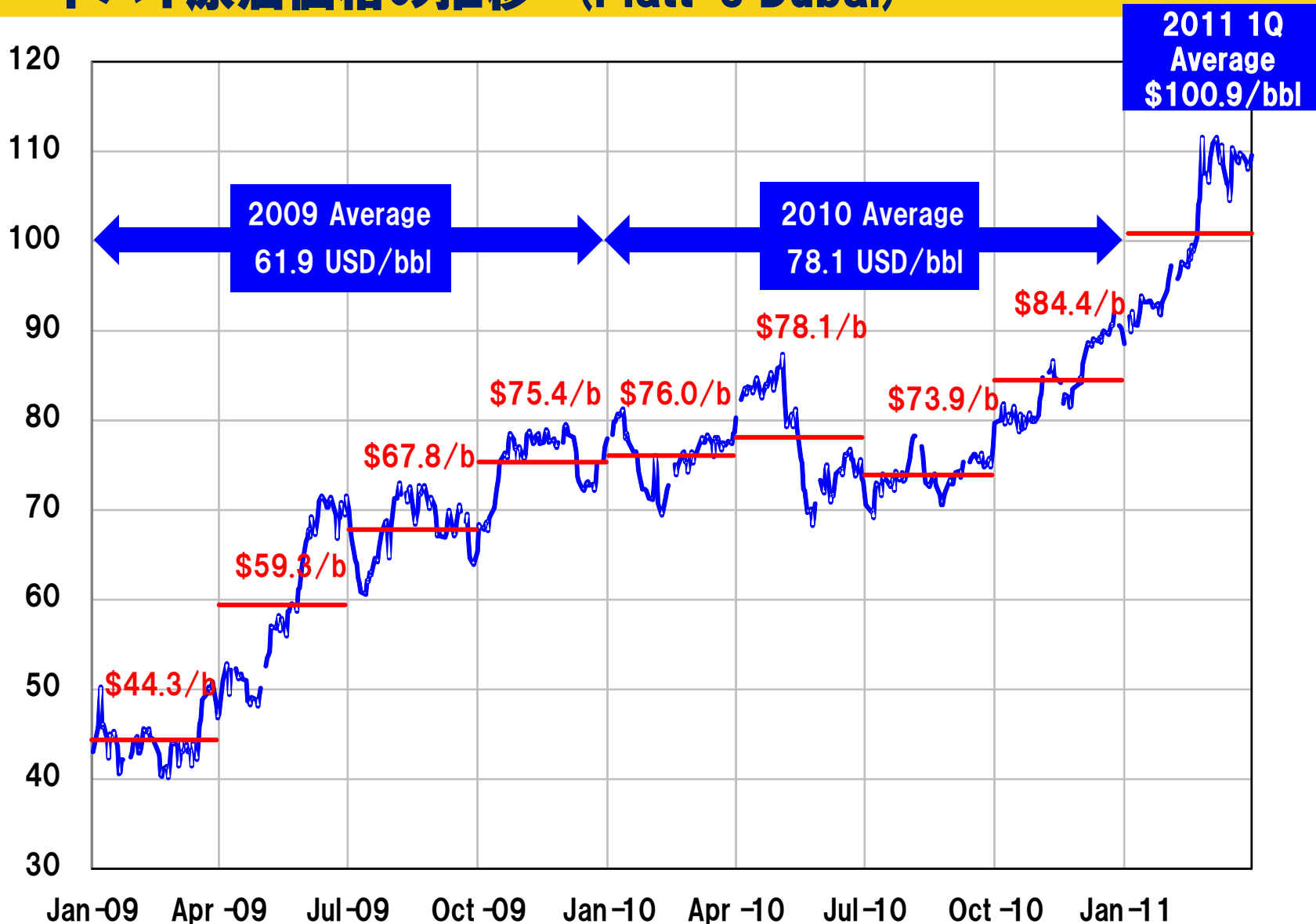
# 参考データ集

# 四半期別 経常利益の推移

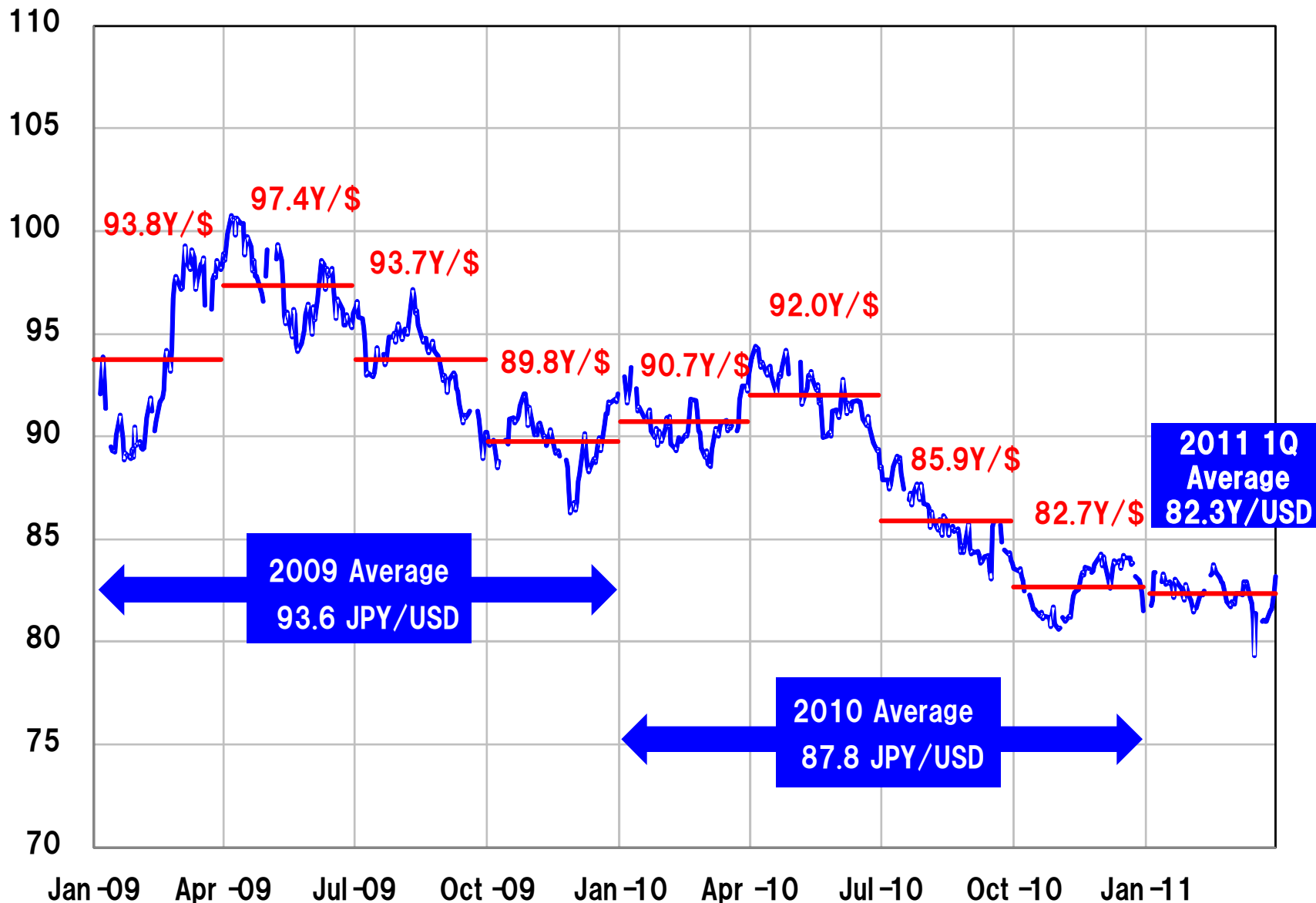
10億円



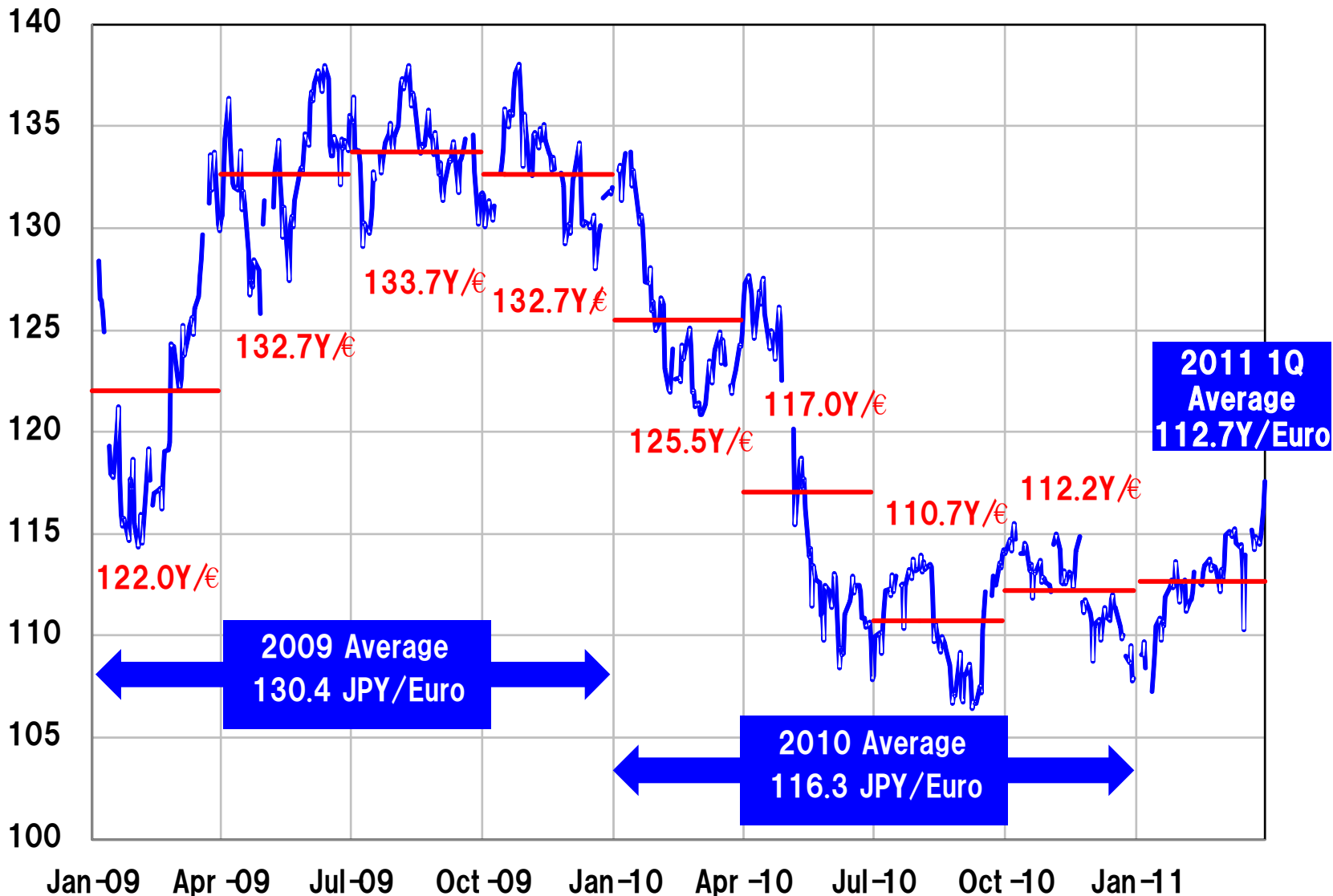
# ドバイ原油価格の推移 (Platt's Dubai)



# 為替レートの推移 (円/アメリカドル 仲値)



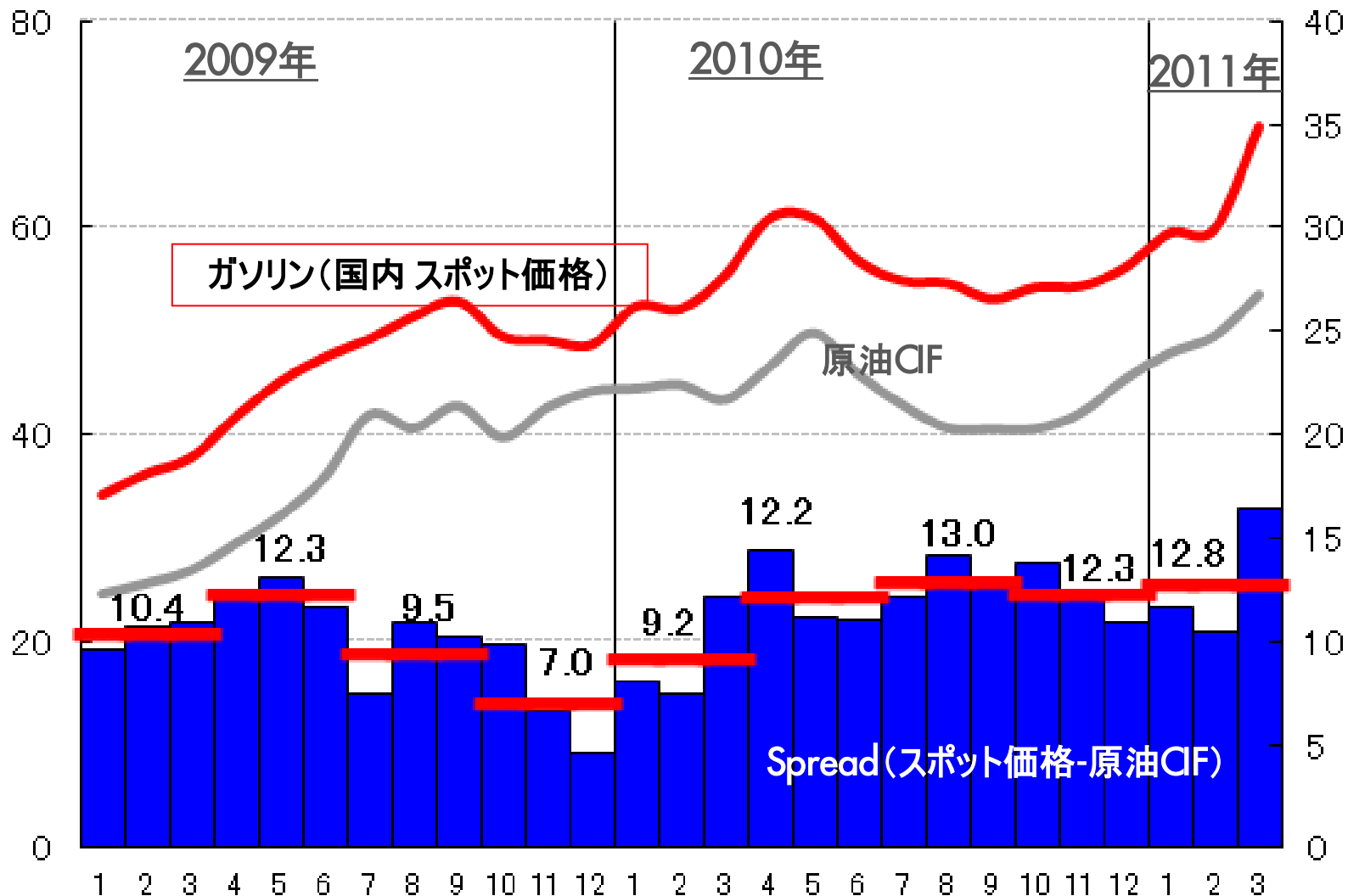
# 為替レートの推移 (円/ユーロ 仲値)



# 国内マーケットの状況①（ガソリン）

原油・製品価格 ¥/L

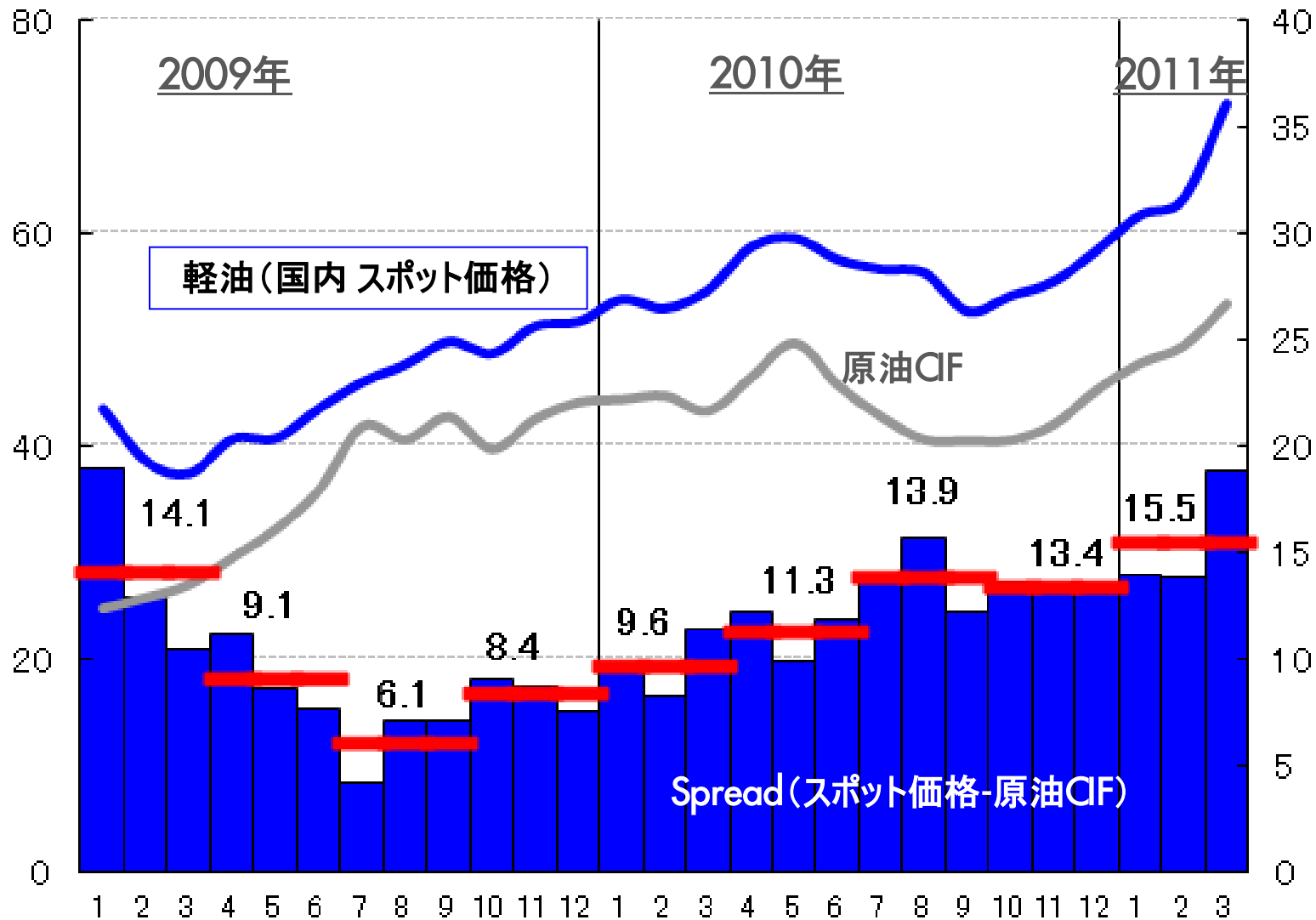
Spread ¥/L



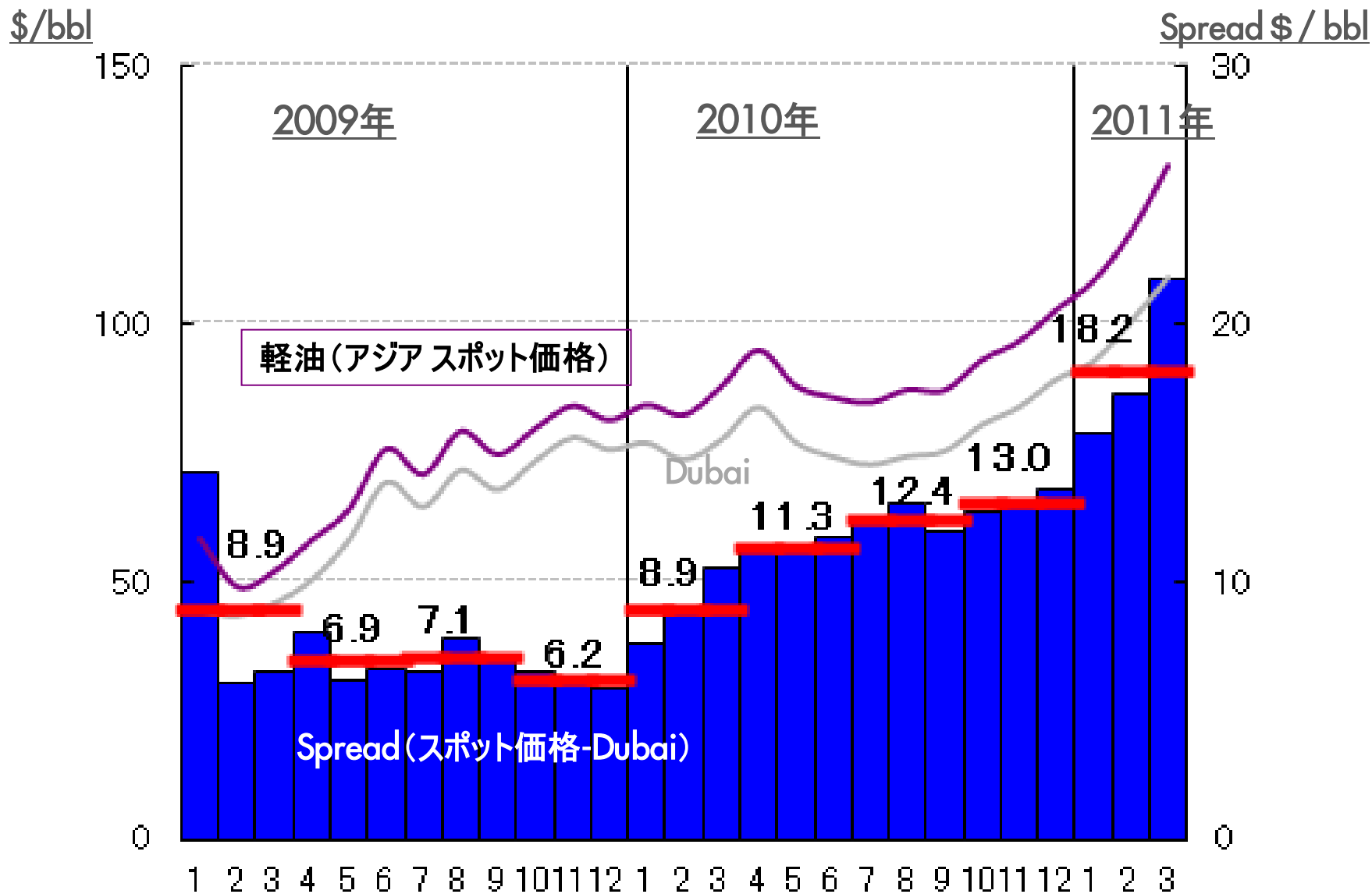
# 国内マーケットの状況②（軽油）

原油・製品価格 ¥/L

Spread ¥/L



# 海外マーケットの状況①（軽油）





# 海外マーケットの状況②（ミックスキシレン）

\$/MT

Spread \$/MT

